

4. 楽田地域

(1) 地域のまちづくり課題

□「暮らし」の視点

- ・地区拠点として位置づけた楽田駅周辺においては、居住機能や日常的な生活利便機能の充実を図ることが必要です。また、過度に自動車交通に頼らなくても暮らし続けることができるよう、当該駅周辺での交通結節機能の強化を図りつつ、公共交通や徒歩などでの快適な移動環境を確保していくことが必要です。
- ・健康づくり・福祉エリアに位置づけた山の田公園周辺を中心に、歩行者ネットワークの形成など、市民の健康な暮らしを支える生活環境の形成を図ることが必要です。
- ・地域の東部の丘陵地等を中心に、土砂災害が懸念される箇所がみられることから、これら防災対策を進め、都市防災性の向上を図ることが必要です。
- ・都市基盤施設が未整備な市街地内には多くの都市的低・未利用地が残ることから、これら都市的低・未利用地の宅地化の促進や緑地・広場等としての有効活用を図ることが必要です。
- ・気候変動の影響により降雨量が増大しているため、これに対応できるような雨水対策を講じる必要があります。
- ・人口の減少を背景に市街地内等において空き家が増加しています。防犯、防災、景観や地域コミュニティ維持の観点から空き家対策を講じる必要があります。

□「活力」「交流・にぎわい」の視点

- ・犬山高根洞工業団地をはじめ、既存の工業用地の維持を図るとともにその周辺においては、本地域のみならず市全体の活力向上につながるような新たな産業機能の導入を促進することが必要です。なお、既存の工業用地が集積した区域の一部では、住宅地等が介在する地区もみられることから、これら区域では、既存の産業機能と居住機能をともに維持し、工場等と住宅が共存する土地利用を継続できるような対策を検討することが必要です。
- ・地区拠点や産業用地、地域内に点在する資源等を結び、円滑な都市活動を支えるために必要な道路網の充実を図ることが必要です。
- ・既存の道路網や地域内を流れる河川等を活用しながら、地域に点在する歴史・文化資源や東部の自然資源等のネットワークを強化することが必要です。

□「自然・環境」の視点

- ・地域東部の丘陵地に広がる緑地や一団のまとまりある農地については、その保全を図ることが必要です。
- ・地域東部の緑地の保全に向けては、緑を守り、育むような市民の気運を高める取組みを進める必要があります。

(2) 地域のまちづくり目標と方針

<まちづくり目標>

**集積する産業と共生しながら
便利で快適な生活環境が整ったまち**

本地域では、地区拠点である楽田駅周辺を中心に、暮らしに必要な魅力ある機能やそれを支える都市基盤施設等が整うとともに、本地域に集積する産業機能と共生しながら、便利で快適な生活環境が整い、高齢者をはじめ誰もが暮らし続けたいとなるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

- 地区拠点である楽田駅周辺及び駅につながる幹線道路の沿道では、駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や歩道設置等を通じ、日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地を促進します。
- 楽田駅へのアクセス利便性を高めるような歩行環境の改善等を図ります。
- 楽田駅周辺では、自転車等駐車場の充実を図ります。
- 楽田駅周辺では、都市的低・未利用地等を中心に宅地化の促進を図ります。
- 基盤未整備市街地では、自動車の速度抑制や地区内への過度な進入の抑制に配慮しながら、地権者等の関係者の協力を得て、狭あい道路等の生活道路の整備・改善を進めます。
- 山の田公園の利用促進を目指し、施設の整備拡充を検討します。
- 各拠点・鉄道駅等へのアクセス利便性の向上や高齢者の買い物支援等に向け、コミュニティバス等の強化・充実等により、利便性の向上を図ります。
- 楽田小学校の改築、機能充実を図ります。
- 県への要望を通じ、土石流危険溪流対策（洞田沢）を進めます。
- 楽田巾地区、楽田今村地区及び楽田小針地区等既存の産業用地の周辺において、新たな産業用地の形成を図ります。
- 地域内での自動車交通を円滑に処理するため、以下の都市計画道路等幹線道路の整備等を進めます。
 - ・(都)大口楽田線の整備【県】
 - ・(都)楽田桃花台線の整備【県】
 - ・(都)富岡荒井線の整備【市】
 - ・県道大県神社線の整備【県】

- 周辺道路の利用状況を踏まえ、(都)大口楽田線の計画変更(見直し)・整備を検討します。
- 地域コミュニティを維持し、育むため、身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援などの取組みを進めます。
- 気候変動の影響により降雨量が増大しているため、これに対応できるような雨水対策を講じます。
- 市街地内等において増加する空き家に対する対策を講じます。

<まちづくり目標>

地域の豊かな歴史・自然にふれあえる歩いて楽しいまち

本地域では、地域内に点在する数多くの歴史・文化資源や自然資源等を歩いてめぐりながら、住民同士の交流・ふれあいを創出するとともに、日常生活の中で気軽に本地域固有の自然・歴史・文化を感じ、楽しむことができるまちを目指します。



<目標実現に向けたまちづくりの方針>

- 山の田公園周辺(健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア)の整備・充実を図りつつ、公共交通や徒歩等でのアクセス利便性の向上及び当該エリアを含めた各エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成を図ります。
- 薬師川沿いの桜並木や、青塚古墳、大縣神社・本宮山・信貴山など歴史・文化資源を結ぶハイキングコース等を活用して、歩行者ネットワークの形成や歩行環境の充実を図ります。
- 大縣神社を中心とした歴史的風致の維持向上を図ります。

■ 楽田地域のまちづくり方針図



地区拠点の形成
 ○駅前広場等の都市基盤施設の整備・改善や歩道設置等を通じた日常生活に必要な生活利便施設や徒歩・自転車でも利用しやすい商業施設等の立地促進
 ○楽田駅へのアクセス利便性を高めるような歩道環境の改善
 ○自転車等駐車場の充実

○山の田公園の利用促進を旨とした施設の整備の検討

○(都)大口楽田線の計画変更(見直し)整備検討

○新たな産業用地の形成

○(都)大口楽田線整備の促進 [県への要望]

○青塚古墳の活用

○(都)富岡荒井線整備の推進

○新たな産業用地の形成

○県道大県神社線整備の促進 [県への要望]

○楽田小学校の改築・機能充実の推進

○新たな産業用地の形成

○薬師川沿いの桜並木や青塚古墳、大縣神社・本宮山・信貴山を結ぶハイキングコース等を活用した歩行者ネットワークの形成、歩行環境の充実

○大縣神社を中心とした歴史的風致の維持向上

○土石流危険渓流対策(洞田沢)の促進 [県への要望]

○薬師川沿いの桜並木や青塚古墳、大縣神社・本宮山・信貴山を結ぶハイキングコース等を活用した歩行者ネットワークの形成、歩行環境の充実

○(都)楽田桃花台線整備の推進 [一部県への要望]

【地域全体】
 ○生活道路の改善及び基盤施設の整備を通じた日常生活に必要な生活利便施設等の立地促進
 ○コミュニティバス等の強化・充実等による利便性の向上
 ○身近なまちづくり・計画づくりへの住民参加や住民参加による公園等の維持管理、祭りの活性化やNPO団体の支援の推進
 ○健康づくり・福祉エリア、市民交流エリア間をつなぐ歩行者ネットワークの形成
 ○基盤未整備市街地での都市的低・未利用地の宅地化促進
 ○狭あい道路等の生活道路の整備・改善の推進
 ○歴史・文化資源を結ぶハイキングコース等を活用した歩行者ネットワークの形成、歩行環境の充実
 ○空き家対策
 ○雨水排水対策

凡 例		
市街化区域	市街化調整区域	その他
低層専用住宅地	森林等	都市計画道路
専用住宅地	農地等	鉄道駅
住宅地	集落・住宅団地	市街化区域
沿道住宅地	工業地	
住商複合地	施設用地	
商業業務地	河川・ため池等	
住工混合地		
工業地		

